

授業名：トランプで「7並べをしよう」

授業名：生活

学部 高等部

発達年齢：大田ステージ：Ⅲ－2（概念形成の芽生えの段階）Ⅳ－1（基本的な関係の概念が形成された段階）

K式：認識4～7言語 4.7～5 全体4.1～6.1

写真（教材、使用場面など）



ねらい

- ・ゲームのルールを理解する。(順番を守り、自分の番のときは、何をするかよく考える)
- ・みんなと協力して、準備や後片付けをする。
- ・ゲームを通して余暇活動の充実をはかる。

工夫した点

トランプには、興味があり、今までババ抜きをしたりしました。7並べは、あまりなじみがないようで、種類や順番が分からなくなってしまうことがありましたので、順番を表すボードを制作することにしました。ボードの用紙と4種類の図柄見本を用意して、制作していきました。希望を聞いて、担当する絵柄を選択しましたので、それぞれの微妙に違う絵柄ができました。自分たちで制作する中で、これは、「ハート」「スペード」と種類を自然に覚えていくこともできました。

活用方法及び児童生徒の様子

当初、途中から順番が分からなくなり、手元にあるものを出そうとしていたのが、ボードの数字や絵柄を参考に、順番に出していくことができました。ボードがあることで、自分の番になったときは、どのカードを出せばいいかを考えられるヒントにもなりました。発達課題的には、このゲームはそれほど難しいとは思われませんが、改めて数の躰きを気づくこともありました。簡単なものですが、一つの支援グッズになりました。出せるカードがないときに、「パス」というルールも途中から導入したのですが、このボードがあることで「出せる」「出せない」ということも想像できたように思います。

台湾の支援学校との交流会でもこれを使いました。言葉の壁がある中でも、ルールを理解してもらえみんな仲良く取り組むことができました。

その他（材料、作成費用、購入先など）

特に購入したものはありません。

